

# だれもが自分らしくのびやかに生きる社会を

## ～男女共同参画に関するアンケート調査ご協力のお願い～

市民の皆様には、日頃より市政全般にわたりご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

泉大津市では、男女共同参画社会の実現に向けて、平成28年3月に令和7年度（平成37年度）までを計画期間とする「人が好きです。このまちが好きです。わたしも参加します。にんじんプラン」をキャッチコピーとした「第3次泉大津市男女共同参画推進計画」を策定し、取組を進めてまいりました。令和7年度に現行計画は目標年次を迎えることから、現在の社会情勢に沿った第4次計画の策定を予定しております。この度、現在の市民の皆様の状況確認と、市民の皆様のご意見をお伺いし、計画策定の基礎資料とするため、「男女共同参画に関するアンケート調査」を実施することといたしました。

この調査は、満18歳以上の市民の男女2,000人を対象として行うもので、無作為抽出により選ばせていただきお願いするものです。

アンケート結果は全体として統計的に集計しますので、個人が特定されるようなことはありません。また、今回の目的以外に使用することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年4月

泉大津市長 南出 賢一

回答日

**5月10日(土)**までに、調査票を  
同封の返信用封筒に入れ、ポストにお入れください。  
(切手は不要です。)



### ～ご記入にあたってのお願い～

- \*回答は、封筒の宛名ご本人がお答えください。
  - \*回答方法は、調査票に記入し郵送いただく方法とインターネットによる回答のどちらかを選ぶことができます。両方に回答された場合、一方の回答は無効になります。
- 以下のID番号は回答の重複を確認するためのもので個人を特定するものではありません。

#### <インターネットによる回答方法>

1. 下記URLを入力するか右のQRコードを読み取り、インターネット回答ページへアクセスしてください。  
【回答ページURL】 <https://smilesurvey.co/s/a4dc233a/o>
  2. 下記のIDを入力の上、**回答を始める**を押してください。  
調査票の回答ページが表示されたら、順番に該当する番号にチェックを入れてください。
- ID
3. 入力後は、確認ページで回答内容を確認して、**送信する**を押してください。
  4. インターネットの回答は1回限りで、送信後の修正はできませんので、ご注意ください。



【お問い合わせ先】 泉大津市役所人権くらしの相談課

TEL 0725-33-1131 FAX 0725-21-0412



# 男女平等について

問1 あなたは、現在の社会全般をみたときに、次のような場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑨までのそれぞれにあてはまる番号に○をつけてください。  
(各項目でそれぞれ○は1つ)

	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている
① 法律や制度の上では	1	2	3	4	5
② 地域の慣習やしきたりでは	1	2	3	4	5
③ 自治会やPTA、祭りなどの地域活動では	1	2	3	4	5
④ 学校教育では	1	2	3	4	5
⑤ 雇用の機会や職業の選択では	1	2	3	4	5
⑥ 職場の賃金や待遇では	1	2	3	4	5
⑦ 家庭生活では	1	2	3	4	5
⑧ 政治の場では	1	2	3	4	5
⑨ 社会全体では	1	2	3	4	5

問2 あなたは、今後さらに、だれもが暮らしやすい社会になるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改める
2. 性別による固定的な社会通念、習慣・しきたりを改める
3. 子どもの頃から家庭や学校で男女平等教育をする
4. 仕事や賃金面で男女格差をなくす
5. 男女の働き方を見直し、家事・育児・地域活動などに双方が関わるようにする
6. 安心して働くための保育や介護などの施設整備やサービスの充実を図る
7. 女性が意思決定の場へ参画するよう動機づけや学習機会を拡大する
8. 女性も経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、能力を高める
9. 男性が身の回りのことなど生活面で自立できるよう意識や行動を変える
10. その他(具体的に )
11. 特に必要なことはない

問3 次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。①～⑨までそれぞれについてお答えください。（各項目でそれぞれ○は1つ）

	賛成	賛成 どちらかといえば	反対 どちらかといえば	反対
① 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方	1	2	3	4
② 女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家族を中心に考えて生活したほうがよい	1	2	3	4
③ 妻子を養うのは男性の責任である	1	2	3	4
④ 子どもが3歳までは母親の手で育てるのがよい	1	2	3	4
⑤ 希望する夫婦は別々の姓を名乗っても構わない	1	2	3	4
⑥ 父親も子育てに積極的にかかわった方がよい	1	2	3	4
⑦ 政治など方針決定の場に参画する女性が今よりも増えた方がよい	1	2	3	4
⑧ 自治会やPTAなどの会長や役員に女性が増えた方がよい	1	2	3	4
⑨ 同性同士の結婚を認めてよい	1	2	3	4

問4 あなたは、自分の子どもが、特にどのような人に育ててほしいと思いますか。女の子、男の子どちらかだけいる方は、両方を想定して、現在子どもがいない方は、いる場合を想定して、お答えください。  
（「女の子の場合」「男の子の場合」それぞれ○は2つまで）

	やさしく 思いやりのある人	自分の考えを はっきりと言える人	円満な人間関係が もてる人	リーダーシップの とれる人	家事など身の回りの ことができる人	経済的自立ができる人	素直で、 よく言うことを聞く人	活発で、何事も積極的 にできるような人
① 女の子の場合	1	2	3	4	5	6	7	8
② 男の子の場合	1	2	3	4	5	6	7	8

# 家庭生活について

問5 家庭での分担について、あなたはどのようにするのが望ましいと思いますか。また実際にあなたの家庭では、どのように分担していますか。

(①～⑦の項目について、理想と現実でそれぞれ○は1つ)

	理想					現実					
	主に男性が するのがよい	どちらか といえば 男性がする のがよい	両方同じ くらい する のがよい	どちらか といえば 女性がする のがよい	主に女性 が する のがよい	主に男性 が している	どちらか といえば 男性が している	両方同じ くらい している	どちらか といえば 女性が している	主に女性 が している	該当 しない
① 生活費をかせぐ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
② 日々の家計の管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
③ 日常の家事	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
④ 老親や病身者の介護や看護	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
⑤ 子どもの教育としつけ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
⑥ 育児（乳幼児の世話）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6
⑦ 自治会など地域活動への参加	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6

## 労働・社会参加について

問6 現在、雇用されて働いている方（勤め人（正規社員・職員またはパート・アルバイト・派遣等非正規社員・職員））にお聞きします。

あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。

（各項目でそれぞれ○は1つ）

	男性の方が 優遇されている	女性の方が 優遇されている	平等である	わからない
① 募集・採用	1	2	3	4
② 賃金	1	2	3	4
③ 仕事の内容	1	2	3	4
④ 昇進・昇格	1	2	3	4
⑤ 管理職への登用	1	2	3	4
⑥ 能力評価(業績評価・人事考課など)	1	2	3	4
⑦ 研修の機会や内容	1	2	3	4
⑧ 働き続けやすい環境	1	2	3	4
⑨ 育児・介護休暇など休暇の取得しやすさ	1	2	3	4

【すべての方にお聞きします。】

問7 あなたが、女性の働き方として望ましいと思うのは、次のうちどれですか。  
（○は1つ）

1. 結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい
2. 結婚するまで仕事を持ち、結婚後は家事に専念する方がよい
3. 子どもができるまで仕事を持ち、子どもができたら家事や育児に専念する方がよい
4. 育児の時期だけ一時やめ、その後フルタイムで仕事を続ける方がよい
5. 育児の時期だけ一時やめ、その後パートタイムで仕事を続ける方がよい
6. 仕事にはつかない方がよい
7. その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）
8. わからない

問8 働く人が、出産・子育て・介護などの理由で、仕事を辞めずに働き続けるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（○は2つまで）

1. 配偶者などの家族の理解や家事、育児などへの参加
2. 保育所・学童保育などの子育てサービスの充実
3. 介護のための施設やサービスの充実
4. 育児・介護休業制度の充実
5. 労働時間の短縮、フレックスタイム制、テレワークなどの柔軟な勤務制度の導入
6. 妊娠・出産・子育て・介護に理解のある職場環境
7. その他（具体的に

問9 あなたは、これまでに育児休業・介護休業を取りましたか。  
（各項目でそれぞれ○は1つ）

①育児休業について	②介護休業について
1. 取りたいと思い、取った	1. 取りたいと思い、取った
2. 取りたいと思ったが、（自分の意思で）取らなかった	2. 取りたいと思ったが、（自分の意思で）取らなかった
3. 取りたいと思ったが、（周りの状況で）取れなかった	3. 取りたいと思ったが、（周りの状況で）取れなかった
4. 取りたいと思わなかったが、取った	4. 取りたいと思わなかったが、取った
5. 取りたいと思わず、取らなかった	5. 取りたいと思わず、取らなかった
6. あてはまらない	6. あてはまらない

問10 問9で1つでも「2. 取りたいと思ったが、（自分の意思で）取らなかった」「3. 取りたいと思ったが、（周りの状況で）取れなかった」と回答した方にお聞きします。  
取得できなかった理由は何ですか。（○は3つまで）

1. 職場に取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. （休業後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 配偶者・パートナーが育児休業・介護休業制度を利用した
8. 配偶者・パートナーが無職、祖父母などの親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
9. 職場に育児休業・介護休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
10. 育児休業・介護休業が取れる条件を満たさなかった
11. その他（具体的に

【すべての方にお聞きします。】

問11 性別にかかわらず、仕事と子育て、介護、地域活動を両立させるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

1. 女性も継続して働くのは当然だという女性の意識や社会的な風潮をつくる
2. 男性自身が家事・育児・介護・地域活動に参加するという意志を持つ
3. 家族が理解し、協力する
4. 育児休業や介護休業、地域活動のための休暇などが取りやすい職場環境をつくる
5. 働いている人たちが、地域活動に参加しやすいような工夫をする
6. 働く人の状況に応じた柔軟な働き方を選べるようにする
7. 性別による賃金格差をなくす
8. 幼稚園・保育所・学童保育の充実を図る
9. 介護の負担を軽減する介護サービスの充実を図る
10. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
11. わからない

問12 あなたは、子どもたちが将来、性別にかかわらず社会の様々な分野で活躍できるように、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 性別にかかわらず家事・育児・介護などをともに担うための教育を行う
2. 子どもに対して、性別による偏りがないよう声かけに配慮する
3. 学校における活動（生徒会など）を性別による偏りなく責任を担うようにする
4. 女子生徒に対して理系分野の進路選択を積極的に支援する
5. 多様な職業選択の可能性を性別による偏りなく支援する
6. 学校の校長や教頭に女性を増やしていく
7. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
8. 特に必要はない
9. わからない

## 暴力・ハラスメントについて

問13 あなたは、次のような行為を知っていますか。また、経験したことがありますか。  
 (「知っている」「経験したことがある」それぞれ○はいくつでも)

	①知っている	②経験したことがある
1. 職場等での上下関係や権力を利用した嫌がらせ行為 (パワーハラスメント)	1	1
2. 性的な言動によって不利益を受けたり、就業環境が害されたりする行為 (セクシュアルハラスメント)	2	2
3. 身体的な苦痛ではなく精神的な苦痛を与える嫌がらせ行為 (モラルハラスメント)	3	3
4. 男らしさや女らしさを強要する行為 (ジェンダーハラスメント)	4	4
5. 妊娠や出産、子育てを理由とした嫌がらせや不利益な行為 (マタニティハラスメント)	5	5
6. 男性で育児休業の取得や育児を理由とした嫌がらせや不利な行為 (パタニティハラスメント)	6	6
7. どれも無い	7	7

問14 あなたは、次のようなことが配偶者・パートナー、恋人の間で行われて、された人が怖いと感じた場合、それを暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)だと思えますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。(各項目でそれぞれ○は1つ)

	暴力(DV)にあたる どんな場合でも	暴力(DV)にあたる場合もある そうではない場合もある	暴力にあたらぬ
① 物を投げる・壊す	1	2	3
② 殴るふりをして、おどす	1	2	3
③ 望まないのに性的な行為を強要する、避妊に協力しない	1	2	3
④ 無理やりポルノ画像などを見せる	1	2	3
⑤ なにを言っても無視し続ける	1	2	3
⑥ 暴言をはいたり、ばかにしたり、見下したりする	1	2	3
⑦ 自由にお金を使わせない、必要な生活費を渡さない、借金を強要する	1	2	3
⑧ 友達や身内とのメールや電話のチェックや、つきあいを制限する	1	2	3
⑨ 本人の許可なく性的な写真や動画をSNSなどに投稿する	1	2	3

問15 あなたは、配偶者・パートナー、恋人から、問14のようなことをされたことがありますか。(○は1つ)

1. 何度もあった                      2. 1、2度あった                      3. まったくない

問15-1 問15で「1. 何度もあった」「2. 1、2度あった」と回答した人にお聞きします。

あなたは、そのことをだれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は1つ)

1. 相談した                      2. どこ(だれ)にも相談しなかった

【すべての方にお聞きします。】

問16 あなたは、ドメスティック・バイオレンス(DV)防止法についてどの程度知っていますか。(○は1つ)

1. 内容も知っている                      2. 言葉を見聞きしたことがある                      3. まったく知らない

問17 あなたは、DVや性暴力を受けた人や様々な困難を抱える女性が相談できる相談窓口としてどのようなものを知っていますか。(○はいくつでも)

1. 配偶者暴力相談支援センター(女性相談センターなど)
2. 女性のための総合的な施設(男女共同参画センター、女性センターなど)
3. 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター
4. 警察
5. 法務局、人権擁護委員
6. 市町村など役所の相談窓口
7. 上記以外の公的な機関
8. 民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)
9. その他(具体的に \_\_\_\_\_ )
10. 1つも知らない

問18 あなたは、暴力やハラスメントを未然に防ぐために、子どものときから学校や家庭でどのようなことを行うことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 幼児のときから自分の心とからだを大切にすることを教える
2. 性別によるからだの違いについて学ぶ機会をつくる
3. DV、デートDV防止教育を行う
4. 「性的同意」について学ぶ機会をつくる
5. 性と生殖に関する健康と権利について学ぶ機会をつくる
6. 性の多様性について学ぶ機会をつくる
7. SNSで起こっている性暴力被害について学ぶ機会をつくる
8. その他(具体的に \_\_\_\_\_ )
9. 特に必要はない
10. わからない

問19 あなたは、DVや性暴力の被害や、様々な困難を抱える女性が悩みを相談できる窓口などで特に配慮してほしいと思うことは何ですか。（○は3つまで）

1. メールによる相談ができる
2. チャット、SNSなどによる相談ができる
3. 電話による相談ができる
4. 通話料が無料で相談できる
5. 24時間相談ができる
6. 医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などについて、無料で支援が受けられる
7. 相談内容に関連する、他の相談窓口との連携が行われる
8. 同性の相談員がいる
9. 匿名で相談ができる
10. 弁護士など、法的知識のある相談員がいる
11. 臨床心理士、公認心理師など、心理専門職の相談員がいる
12. DVや性暴力に関する専門の相談員がいる

## 泉大津市の取組について

問20 あなたは次のような取組について、泉大津市にどのような期待をしていますか。①～④までそれぞれについてお答えください。（各項目でそれぞれ○は1つ）  
※別紙言葉の説明をご参照ください。

	積極的に取り組むべき	今のままでよい	取り組む必要はない
① 性別に基づく無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づき、性別による不平等を解消するための取組	1	2	3
② ドメスティック・バイオレンス（DV）をなくし、被害を受けた人を支援する取組	1	2	3
③ だれもがワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現できるための取組	1	2	3
④ セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の理解と浸透をうながす取組	1	2	3

